



秋も深まってまいりました。会員の皆様には、ますます学社融合にご尽力のことと拝察いたします。会報「ゆうこう NO. 8」をお届けします。

おしらせ

1. 融合研役員人事

空席になっていた役員のうち副会長に仙台シニアネットの「庄子平弥さん」にお願いしました。その他の役員は、留任です。今後もよろしくお願いいたします。

1999年度 学校と地域の融合教育研究会役員

会長 宮崎 稔（習志野市教育センター所長）

副会長 岸 裕司（習志野市秋津コミュニティ会長・秋津小学校コミュニティルーム運営委員長）

同 庄子 平弥（仙台市シニアネット仙台事務局長）

監事 野澤 令照（宮城県天沢小学校教頭）

同 吉川 真紀（習志野市秋津コミュニティ運営委員）

事務局長 宮崎 雅子（手をつなぐNPOの会千葉）

事務局員 野口 陽一（習志野市秋津コミュニティ副会長・秋津小学校コミュニティルーム運営副委員長）

同 矢吹 正徳（日本教育新聞社編集局）

2. ミニフォーラムのおしらせ

12月11日（土）10：00より16：00まで、習志野市秋津コミュニティでミニフォーラムを開催します。

内容は 会員の研究発表（発表できる事例のあるかたは、11月末までに事務局までご連絡ください。発表時間は、一人15～20分です）
京都市PTA連絡協議会の研究大会とテレビを使った交流会をします。全部の時間に参加できなくてもけっこうです。参加可能な時間帯にお越しください。会費は無料、終了後懇親会を行います（会費1000円）。出席できる方は「事務局まで」FAXまたはEメールでご連絡ください。

現在予定している提案者

越田幸洋さん（鹿沼市教育委員会）

融合の理論について、学校の選択教科と公民館講座とが一体となった事例を元に提案していただけたと思います。

遠藤 正さん（府中市日新小学校）

授業日のみならず、休日も地域で活動する児童と教師の実践とその課題について提案いただけたと思います。

渡辺勝さん（習志野市秋津小学校）

授業（とくに総合的な学習）での学校と地域施設や地域住民との継続的な関わりについて提案していただけたものと思います。

その他、提案を希望する方（事例の紹介または、課題を討議していただいてヒントを得たいという方）は、ご連絡ください。

テレビ交流会の日程によって、研究発表を先に行うこともあります。

3. 融合研編「融合冊子」の発行

小学館より「総合教育技術1月号 別冊付録「開かれた学校ヒント集」」として発行されます。事務局で人選して執筆していただきました。内容はとてもよいものだと思いますので、ぜひ購読ください。

4. 会員の研究物（2ページ以降に掲載）

事務局に届いた「会員個人および研究組織の研究物」を紹介します。内容を知りたい方は事務局までご連絡ください。また、今後も随時受け付けておりますので事務局まで郵送ください。（その際、着払いでけっこうです）

5. 融合フォーラムの記録（同封の資料を参照してください）

8月7日に仙台で行われた「第3回融合フォーラム」の記録をお届けします。概略は「月刊 社会教育 11月号」より転載しました。また、アンケート結果は、仙台市教育委員会「佐藤悦雄」様がまとめ、パネルの部分はパネラーの一人であった「針生英一」様に、コンパクトな小冊子としてまとめていただきました。ありがとうございました。

6. 会員の執筆原稿より（同封の資料を参照してください）

今回は、会員が雑誌等に発表しているものの中から事務局で選んで転載させていただきました。

事務局では、会員の全ての動向を把握しきれません。今後も受付ますので、執筆されたものがある方、また新聞等で紹介された方は、コピーの一部を事務局まで「着払いで」郵送ください。

事務局より（お願い）

会員数が増え（現在 170 名程になりました。まだまだ増え続けそうです）、事務が煩雑になってきました。そこで、

- 1、本年度の会費（2,000 円）がまだ未納の方は、早めに納入ください。

郵便局にも口座を設けました。

「記号 10500 番号 4 2 5 9 2 9 2 1 宮崎稔

住所 285-0843 佐倉市中志津 7-17-4 融合研」です。

- 2、Eメールをお持ちの方には、会報として印刷し冊子にする前の情報をいち早く伝えることができます。

誤りを防ぐため「事務局までEメールで」ご連絡ください。また、すでにご連絡いただきながら届かない方は、事務局への登録番号が不確実な可能性があります。今回の会報の表紙に「メールのアドレスをお知らせください」と朱書してありますので、もう一度「メールで」ご連絡ください。

事務局アドレス miyazaki@jb3.so-net.ne.jp です

事務局に寄せられた研究物

- 1 地域や学校で総合的・実践的に進めよう

子どもを対象とする実践的なまちづくり学習方法 「防災とまちづくりの学習プログラム集」

平成10年度防災まちづくり教育推進方策検討調査報告書

建設省都市局都市再開発防災課ほかー

- 2 まちワーク研究会報「子どもとまち」

- 3 環境教育における学社連携・融合に関する基礎研究

上越教育大大学院 教科・領域教育専攻 館岡靖哲

- 4 留学生実態調査報告 「世界の高校生との比較に見る日本の高校生」
千葉高校国際社会研究会（白谷秀一会員より）
- 5 学社連携から学社融合へ
長崎県北松浦郡社会教育連絡協議会 編(米村伍則会員より)
- 6 関東甲信越地区小学校校長研究協議会第一分科会 「夢や希望を育む教育課程の
編成とその実践」および「地域懇談会資料」 鎌ヶ谷市立西部小学校長 江口勝善
- 7 授業づくりはエキサイティング 「子どもとつくった社会科授業」
出井 寛 山梨ふるさと文庫

事務局に寄せられた共同執筆・研究発表等

- 1 スポーツクラブ探検隊 スポーツクラブ徹底分析日本編
「みんなのスポーツ」9・10・11月号 岸田心会員の執筆
- 2 以下は、『西川敏之会員』の研究です
一人の教師として、人間として 百芳教育第10号 1998
授業料クーポン制への道 百芳教育第1号 1987
公立公募実験校構想の検討 百芳教育第3号 1989
望ましい自己概念を育てる学級経営 日本教育経営学会発表要旨 1997
学ぶ楽しさの復活を求めて 山口県教育編「教育実践」 1997.7月号
レポート作りを核とした国際理解教育の推進 2つの実践事例を比較して――
日本国際理解教育学会発表資料 1997
変わり行く人々の生活「3学年」 歴史教育の理論と実践 現代教育社 1995
学校発信型の教育ネットワーク作り――山口県教育会『生きる力』を育む教育ネットワー
ク
学校・家庭・地域社会のもつ教育機能の融合を考える 1998
学校発信型の教育ネットワーク作り――地域の人材活用を突破口として――
日本カリキュラム学会発表要旨 1998
家庭における子どもの学習活動についてのリーダーシップ――小学校
保護者と教師の新しい関係づくり 教育開発研究所 1998
21世紀を築く学校教育の創造と教頭のあり方 10ヶ月の実践をふりかえって思うこ
と

詳しい内容を西川会員から直接お聞きしたい方は、
TEL / FAXとも 0820-48-2248 までご連絡ください。